

第36回 応用倫理・応用哲学研究会

哲学方法論を問い直す

サントリー文化財団研究助成「学問の未来を拓く」
『哲学方法論を問い直す：領域横断的アプローチによる
哲学的思考実験の改良可能性の探究』

2024年10月19日（土） 10:00-17:10

北海道大学人文社会科学総合教育研究棟 W202

10:00-10:10 趣旨説明

10:10-10:50 哲学的直観と信頼性：哲学者の直観の役割を考える

稲荷森輝一（北海道大学/哲学）

11:00-11:40 AI直観の活用可能性

竹下昌志（北海道大学/人工知能）

11:50-12:30 思考実験を改良する：デネットの直観ポンプ論から

松田新（東京大学/哲学）

14:00-14:40 実験哲学における行動

晴木祐助（東京大学/認知神経科学）

14:50-15:30 道徳観に対する感情

池田鮎美（九州大学/認知心理学）

15:40-16:20 文化はバイアスなのか

前田友吾（玉川大学/社会心理学）

16:30-17:10 全体討議

哲学では伝統的に架空の事例（思考実験）における直観的判断が重要視されてきたが、ゼロ年代以降の実験哲学の発展に伴い、こうした従来の方法論に疑問が呈されている。本プロジェクトでは、哲学者・心理学者・AI研究者が協働し、哲学において思考実験が果たすべき役割を学際的に探究する。今回の研究会では、異なる学問的背景を有するプロジェクトメンバーの視点から、新たな哲学方法論の可能性を議論する。

企画・司会

稲荷森輝一（研究代表者）

※事前申込不要 / 対面開催のみ

お問い合わせ 北海道大学大学院文学研究院
応用倫理・応用哲学研究センター事務局
〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
Tel:011-706-4088
Email:caep@let.hokudai.ac.jp
HP:http://caep-hu.sakura.ne.jp
Twitter:@caep_hu